

保谷駅前公民館
発酵食品を味わう
味噌作りと
薬膳の簡単料理

国産大豆と麹から味噌を作り、色んな発酵食品を使った献立を作ります。利用の仕方を覚えて、毎日の食事に役立てませんか。

場 ①③④⑤保谷駅前公民館
②保谷味噌加工工場(住吉町)
対 市内在住・在勤・在学者
定 20人(申込順)
料 3千円(材料費、初回に集金)
持 初回に説明します。
*2回目に、味噌玉2kgを持ち帰ります。
申 12月3日(月)14時から電話で保谷駅前公民館へ

回	月日(曜)	時間	内容	講師
1	12/18(火)	15時～16時半	大豆と麹のお話	保谷 隆司 (市内農家、保谷味噌加工工場長)
2	12/25(火)	13時～17時	味噌作りに挑戦しよう	
3	1/11(金)		味噌を使った献立	岡本 正子 (管理栄養士、国際薬膳師)
4	1/25(金)	15時～17時	塩麴を使った献立	
5	2/8(金)		ヨーグルトを使った献立	

芝久保公民館
ちいさな展示会
ステンドグラス展
彩りのあかりの世界へ



芝久保公民館で活動しているサークルの作品展です。
時 12月1日(土)～12月25日(火)
場 芝久保公民館

芝久保公民館
私らしさを応援セミナー
彼・彼女とのことを考える



嫌なことを「いや」と言っていますか?大切な人とよりよい関係を築くための講座です。
時 12月15日(土)15時～17時
場 芝久保公民館
対 どなたでも
定 30人(申込順)

高柳葉子・杉原昭子(アウエア認定ファシリテーター)
申 電話かメールで芝久保公民館へ
メールでの申込は3面参照
*本文他に年代を明記(例:20代)

公民館市民企画事業
第4期実施分
企画懇談会

第4期(平成25年1月4日～3月14日)に事業を実施するグループが、テーマの設定や講師の選び方、事業で目指すもの、またPRの仕方等、企画事業の経緯を説明し、意見交換をすることで、これまで培ったお互いのノウハウを伝え合う場として開催いたします。来年度この制度を利用し、事業の実施を予定しているグループの方をはじめ、その他多くの方々の参加をお待ちしています。
時 12月8日(土)10時
場 柳沢公民館

谷戸公民館
第25回「谷戸まつり」
II 実行委員会開催のお知らせ

「地域のふれあい」をテーマに平成に誕生した「谷戸まつり」は、来年度25回目を迎えます。日頃の活動を通じた団体間の交流と地域の繋がりを体験してみませんか。皆さまの参加をお待ちしています。
時 ①12/19 ②1/13 ③1/16 ④3/9 ⑤3/23 ⑥4/13
土曜日10時
場 谷戸公民館
呼びかけII第24回谷戸まつり実行委員会

※西東京ビデオ同好会が撮影した第24回谷戸まつりの記録DVDをロビーにて52型TVで随時上映します。
※来年度の谷戸まつりは4月28日(日)、29日(祝)に実施予定。

保谷駅前公民館
超初心者向け
ケータイ
安全操作
講座

携帯電話の基本操作や情報の調べ方、振込め詐欺など犯罪への対策、大規模災害時の安全確認等の方法を学びます。
時 12月26日(水)14時～16時
場 保谷駅前公民館
対 市内在住・在勤・在学者
定 20人(申込多数の場合は抽選)
申 携帯電話インストラクター
往復はがきで「往信表」に〒202-0012と保谷駅前公民館あて先を記入。裏に①郵便番号②住所③氏名④電話番号⑤年齢⑥携帯電話の有無⑦ケータイ講座希望と明記。
返信表に申込人のあて先を記入。裏は無記入。
締 12月7日(金)消印有効
*携帯電話は、公民館で用意します。お持ちの携帯電話の操作説明講座ではありません。

携帯電話を一人一台お貸しします

利用者懇談会報告
来年度に向けて動き始めました

10月12日(金)～10月20日(土)の間、各公民館で来年度事業等の意見・要望を聞く利用者懇談会が開催されました。

柳沢公民館では、初めての試みで、シンポジウムを開催し、これまでに公民館の講座に参加した人から感想を報告してもらいました。公民館事業から自分が変わる、地域が変わることを一緒に考えられました。

田無公民館では、例年に比べ多くの参加者が集まり懇談会の後に講演「公民館と地域コミュニティ」を開催しました。お話を受けて、「もし公民館がなかったら」「大震災後の公民館の役割」などについて、参加者間で対話を深められました。

芝久保公民館でも懇談会と講演「公民館で学び活動すること」をあわせて行いました。サークルや講座での学びを地域づくりに結び付けていけるか、考える契機とすることができました。

谷戸公民館では、谷戸まつりの記録DVDや市民映画祭の作品を見ることにより、まつりや公民館活動の一端を初めて知ったという声が上がりました。

ひばりが丘公民館では地元自治会からも参加いただきました。利用者間のネットワーク作りや、災害時の備蓄スペース確保などを話題にしました。

保谷駅前公民館では、サークル活動紹介のなかで音楽サークルと作品展示会を考えた七宝サークルが共同で催しを開催する機会を作り出すことができタイムリーな懇談会でした。

～あなたの作品をお待ちしています～
ひばりが丘フェスティバル
会場掲示作品公募

公民館利用団体による、音楽と作品展示のフェスティバル。会場を華やかに彩る作品を公募します。

応募規定 = 長辺2メートル以上の書画など。個人・団体を問いません。
応募方法 = 1月10日(木)までにひばりが丘公民館にお持ちください。
掲示・発表 = 最優秀作品を演奏会場正面に掲示し、作者名を紹介し、他の応募作品も館内に掲示します。
選考 = 第4回ひばりが丘フェスティバル実行委員会
問合せ = ひばりが丘公民館
*ひばりが丘フェスティバルは平成25年3月10日(日)に開催します。今回のキャッチフレーズは「とどけよう! 胸いっぱい愛を♥」

メールでの
申込方法

メールアドレス:
1面参照
件名: 講座名
本文: 氏名・電話番号・住所
その他(各講座の記事内に記載)
*後日確認メールを送ります。届かない場合はお手数ですが、お問合せください。



公運審コンゴム

都公運研修会に参加して
公運審委員 福島 憲子
10月6日国立市公民館にて東京都公民館連絡協議会・委員部会の研修会がありました。内容は、田無公民館分館長による『地域社会の変化とこれからの公民館の役割を考える』西東京市での地域づくりの実践からというテーマでの講演でした。各加盟市より約40人の委員の参加があり、西東京市からは公運審委員が8人参加しました。

当日は、西東京市の事業方針、重点事業、これからの公民館事業の他、地域づくりを目的としている事業の中から「小学生のための国際理解講座」、「親子星座観望会」、「地域で創る教育ネットワーク講座」の、3つの事業を実践例として、地域づくりには、長期的視点においての継続性の必要と、市民スタッフの育成等を考慮しながらの企画運営をされている話を伺いました。その後、各グループにて、他市の委員の方と情報交換を行いました。

今回の3つの事例は、子ども関係の事業でしたが、子を持つ親世代の厳しい社会情勢の中、子どもたちの家庭環境も多様化しており、地域の大人が果たす役割として、子どもたちを地域の人々の交流の中に入れることが重要だと再認識しました。そして、これからの公民館は、その時々々の社会情勢や地域性を考えた地域発信基地としての役割があるのではないのでしょうか。